

令和6(2024)年7月

あいさつからはじめる
安全・安心 まちづくり

--- 地域とともにある学校をめざして 地域学校協働本部 より ---

○ 学校運営協議会開催される

6月26日(水)、令和6年度の第1回学校運営協議会が開催されました。

会議は、委員委嘱に始まり、会長および副会長の選出です。会長には、吉川昌弘氏。副会長は西本進氏。共に地域住民の方です。

ここで「コミュニティスクール」について説明をしておきます。

コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域が一体となって教育を進める仕組みです。

協議会は、校長、地域住民や保護者、地域コーディネーター、学識経験者など様々な立場の人が委員となり、ともに知恵を出し合い熟議(じゅくぎ)を重ねます。

学校運営協議会の主な役割は、3つあります。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- ② 学校運営に関する意見の申出(申し出先は、教育委員会または校長)
- ③ 教職員の任用に関する意見の申出(職員個人を特定しない一般的なもの)

コミュニティスクールでは、保護者・地域住民も教育を行っているという当事者となります。ですから、それぞれに責任が出てきます。その結果積極的に子どもに関わることとなります。

第1回の協議会で地域と学校の共通の目標を考えました。西中校区のキャッチフレーズです。

あいさつからはじめる
安全・安心 まちづくり

いろんな意見が出ました。

あいさつは「心を開いて相手に迫る」ものではないでしょうか。つまり、あいさつは「つながり」をつくる始まりです。そして、つながりができると、犯罪のない安全・安心なまちがうまれるように思います。

○ はじめよう あいさつを…まずは声を出すことです
まずはご近所の方とのあいさつです。

そして、通学途中の子どもたちにも声をかけてみて下さい。子どもたちはあいさつを返します。まず、こちらから声をかけることです。玄関に出て声をかけてください。

やってみて下さい。声が返ってくるまで……。

一度や二度で諦めてはいけません。

声をかけることで、心のつながりができます。

声をかけることで声を出します。

声を出すことで、気持ちがすっきりとします。

声を出すことで、心の落ち着きが出てきます。

声を出すことでやる気がみなぎります。

○ 最後に本年度のメンバーを紹介しておきます

令和6年度西中学校学校運営協議会のメンバー

大原 昭夫	保護者代表 PTA 会長
吉川 昌弘(会長)	地域住民
西本 進(副会長)	地域住民
東口 明史	地域コーディネーター
清水 光江	地域コーディネーター
楠 利夫	校長
柴田貴世子	教職員
吉江 俊哉	教頭

(順不同 敬称略)

何かご意見質問等は下記まで

連絡先 TEL 64-2285 西中学校 教頭先生まで

(文責 統括コーディネーター東口明史)